



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	09-5451-1	版	15.00
発行日	2023/03/28	前発行日	2021/04/20

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[®] ファイヤーバリア CP-25WB+

3M スtockナンバー

JE-4100-2482-0 JE-4900-0741-4 JN-3301-2827-1

7000006379 7010685122 7010688134

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

工業用途

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2 A

生殖毒性： 区分2

生殖細胞変異原性： 区分2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H361	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H401	水生生物に毒性

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

水生環境有害性 短期（急性）区分は試験結果に基づいて割り当てられている。 水生環境有害性 長期（慢性）区分は試験データに基づいて実施し、この区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	10 - 30
ポリマー	営業秘密	10 - 30
ケイ酸ナトリウム	1344-09-8	10 - 19
ポリエチレングリコール	25322-68-3	1.0 - 5.0
酸化物ガラス	不明	1.0 - 5.0
ビス(2-エチルヘキシル)=フェニル=ホスファート	16368-97-1	< 1.0
α -[3-カルボキシ(スルホ)プロパノイル]- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10~16)エーテルの二ナトリウム塩	68815-56-5	< 1.0
リン酸トリフェニル	115-86-6	< 1.0
リン酸エチルヘキシルジフェニル	1241-94-7	5.2
酸化鉄	1309-37-1	2.2
結晶性シリカ	14808-60-7	0.10
ホウ酸亜鉛	138265-88-0	26

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

不燃性。周辺火災に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
リン酸化物

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。指定された個人保護具を使用する。

保管

涼しいところに置くこと。熱から離して保管する。食品や医薬品から離して保管する。乾燥した場所に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
リン酸トリフェニル	115-86-6	ACGIH	TWA:3 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
クラス 1 及び 2 以外の有機及び無機粉塵、総粉塵	1309-37-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして) (8時間): 8 mg/m ³ ; TWA(吸入性粉じんとして) (8時間): 2 mg/m ³	
不活性あるいは有害なダスト	1309-37-1	ISHL	TLV(計算値)(ダストとして)(8時間): 0.025mg/m ³	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	1309-37-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間): 4mg/m ³ ; TWA(吸入性粉じん)(8時間): 1mg/m ³	
酸化鉄	1309-37-1	ACGIH	TWA(吸入性分画): 5 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
酸化鉄	1309-37-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間): 4mg/m ³ ; TWA(吸入性粉じん)(8時間): 1mg/m ³	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	1309-37-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間): 4mg/m ³ ; TWA(吸入性粉じん)(8時間): 1mg/m ³	
結晶性シリカ	14808-60-7	ACGIH	TWA(吸入性分画): 0.025 mg/m ³	A2: ヒトに対して発がん性が疑われる
結晶性シリカ(吸入性粉塵)	14808-60-7	JSOH OELs	CEIL(吸入性粉塵として): 0.03mg/m ³	1: ヒトに対して発がん性がある。
ポリエチレングリコール	25322-68-3	AIHA	TWA: 10 mg/m ³	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m³: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ペースト
色	赤色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	7.5 - 8
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	引火点なし
蒸発速度	0.33 [参照基準: 酢酸ブチル=1]
引火性 (固体、ガス)	区分に該当しない。
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	2,333.1 Pa [試験条件: 20 °C]
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	1.35 [参照基準: 水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	適用しない
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	<=0.5 重量% [試験方法: EPA method 24]
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物	<=6 g/l [試験方法: EPA method 24]

(JIS-GHSの要求項目ではない)	
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報**生殖毒性**

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

遺伝子毒性

遺伝子毒性・変異原性： 遺伝子と相互作用を起こし、遺伝子発現を変化させる可能性がある。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
ホウ酸亜鉛	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ホウ酸亜鉛	吸入-粉塵/ミスト	ラット	LC50 > 4.95 mg/l
ホウ酸亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリマー	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ケイ酸ナトリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,640 mg/kg
ケイ酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 500 mg/kg
リン酸エチルヘキシルジフェニル	皮膚	ウサギ	LD50 > 7,940 mg/kg
リン酸エチルヘキシルジフェニル	経口摂取	ラット	LD50 > 24,000 mg/kg
酸化鉄	皮膚	非該当	LD50 3,100 mg/kg
酸化鉄	経口摂取	非該当	LD50 3,700 mg/kg
ポリエチレングリコール	皮膚	ウサギ	LD50 > 20,000 mg/kg
ポリエチレングリコール	経口摂取	ラット	LD50 32,770 mg/kg
ビス(2-エチルヘキシル)=フェニル=ホスファート	経口摂取	マウス	LD50 9,333 mg/kg
リン酸トリフェニル	皮膚	ウサギ	LD50 > 7,900 mg/kg
リン酸トリフェニル	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 50 mg/l
リン酸トリフェニル	経口摂取	ラット	LD50 > 3,000 mg/kg
α-[3-カルボキシ(スルホ)プロパノイル]-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10~16)エーテルの二ナトリウム塩	経口摂取	マウス	LD50 > 540 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ホウ酸亜鉛	ウサギ	刺激性なし
ポリマー	ウサギ	わずかな刺激
ケイ酸ナトリウム	ウサギ	腐食性
酸化鉄	ウサギ	刺激性なし
ポリエチレングリコール	ウサギ	わずかな刺激
α -[3-カルボキシ(スルホ)プロパノイル]- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10~16)エーテルの二ナトリウム塩	In vitro data	腐食性
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ホウ酸亜鉛	ウサギ	激しい刺激
ポリマー	専門家による判断	軽度の刺激
ケイ酸ナトリウム	ウサギ	腐食性
酸化鉄	ウサギ	刺激性なし
ポリエチレングリコール	ウサギ	軽度の刺激
α -[3-カルボキシ(スルホ)プロパノイル]- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10~16)エーテルの二ナトリウム塩	In vitro data	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ホウ酸亜鉛	モルモット	区分に該当しない。
ケイ酸ナトリウム	マウス	区分に該当しない。
酸化鉄	ヒト	区分に該当しない。
ポリエチレングリコール	モルモット	区分に該当しない。
α -[3-カルボキシ(スルホ)プロパノイル]- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10~16)エーテルの二ナトリウム塩	In vitro data	感作性あり

呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ホウ酸亜鉛	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホウ酸亜鉛	In vivo	変異原性
ケイ酸ナトリウム	In vitro	変異原性なし
ケイ酸ナトリウム	In vivo	変異原性なし
酸化鉄	In vitro	変異原性なし
ポリエチレングリコール	In vitro	変異原性なし
ポリエチレングリコール	In vivo	変異原性なし
α -[3-カルボキシ(スルホ)プロパノイル]- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10~16)エーテルの二ナトリウム塩	In vitro	変異原性なし

結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化鉄	吸入した場合	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
ポリエチレングリコール	経口摂取	ラット	発がん性なし
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ホウ酸亜鉛	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	92 日
ホウ酸亜鉛	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	LOAEL 100 mg/kg/日	妊娠期間中
ケイ酸ナトリウム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 200 mg/kg/日	妊娠期間中
ポリエチレングリコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1, 125 mg/kg/日	妊娠期間中
ポリエチレングリコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5699 +/- 1341 mg/kg/日	5 日
ポリエチレングリコール	特段の規定はない。	生殖・発生毒性の区分に該当しない。		NOEL 該当なし	
ポリエチレングリコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 562 mg/animal/day	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ホウ酸亜鉛	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
ケイ酸ナトリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	公的な分類	NOAEL 非該当	
ポリエチレングリコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.008 mg/l	2 週
α -[3-カルボキシ(スルホ)プロパノイル]- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10~16)エーテルの二ナトリウム塩	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ホウ酸亜鉛	吸入した場合	免疫システム 呼吸器系 心臓 内分泌系 造血器系 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.15 mg/l	2 週

		神経系 腎臓および膀胱				
ホウ酸亜鉛	経口摂取	内分泌系 肝臓 腎臓および膀胱 心臓 皮膚 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 免疫システム 神経系 眼 呼吸器系 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 375 mg/kg/day	92 日
ケイ酸ナトリウム	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	イヌ	LOAEL 2,400 mg/kg/day	4 週
ケイ酸ナトリウム	経口摂取	内分泌系 血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 804 mg/kg/day	3 月
ケイ酸ナトリウム	経口摂取	心臓 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,259 mg/kg/day	8 週
酸化鉄	吸入した場合	肺線維症 塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ポリエチレングリコール	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.008 mg/l	2 週
ポリエチレングリコール	経口摂取	腎臓および膀胱 心臓 内分泌系 造血器系 肝臓 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5,640 mg/kg/day	13 週
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

材料	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
3M TM ファイヤーバリア CP-	ミジンコ	実験	48 時間	水生毒性 - 急性	27 mg/l

25WB+					
3M TM ファイヤーバリア CP-25WB+	緑藻類	実験	72 時間	水生環境有害性 長期（慢性）	2.6 mg/l

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ビス(2-エチルヘキシル)=フェニル=ホスファート	16368-97-1	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化鉄	1309-37-1	液状化	実験	3 時間	EC50	>10,000 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリマー	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ケイ酸ナトリウム	1344-09-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリエチレングリコール	25322-68-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	53 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ビス(2-エチルヘキシル)=フェニル=ホスファート	16368-97-1	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	67 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ビス(2-エチルヘキシル)=フェニル=ホスファート	16368-97-1	類似コンパウンド 加水分解		加水分解性半減期 酸性pH	<24 時間 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
α -[3-カルボキシ(スルホ)プロパノイル]- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10~16)エーテルの二ナトリウム塩	68815-56-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	67 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シユツルム試験又は二酸化炭素
リン酸トリフェニル	115-86-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
リン酸トリフェニル	115-86-6	実験 加水分解		加水分解性半減期	19 日 (t 1/2)	
リン酸エチルヘキシルジフェニル	1241-94-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	67 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
酸化鉄	1309-37-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ホウ酸亜鉛	138265-88-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリマー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ケイ酸ナトリウム	1344-09-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリエチレングリコール	25322-68-3	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.3	
ビス(2-エチルヘキシル)=フェニル=ホスファート	16368-97-1	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	724	Catalogic TM
ビス(2-エチルヘキシル)=フェニル=ホスファート	16368-97-1	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	7.89	EPI suite TM
α -[3-カルボキシ(スルホ)プロパノイル]- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10~16)エーテルの二ナトリウム塩	68815-56-5	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.31	ACD/Labs ChemSketch TM
リン酸トリフェニル	115-86-6	実験 BCF - 魚	90 日	生物濃縮係数	271	
リン酸トリフェニル	115-86-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.59	
リン酸エチルヘキシルジフェニル	1241-94-7	実験 BCF - 魚	36 日	生物濃縮係数	934	
リン酸エチルヘキシルジフェニル	1241-94-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	5.87	OECD 123、log Kow (オクタノール/水分配係数)、低速攪拌法

酸化鉄	1309-37-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ホウ酸亜鉛	138265-88-0	推定値 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	242	OECD305-生体濃縮度試験

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

化管法：第 1 種指定化学物質

化管法：第 2 種指定化学物質

本製品には労働安全衛生法で規制される人造鉱物繊維は含まれていない（通知対象物質、施行令 18 条の 2）

労働安全衛生法：令和 4 年厚生労働省告示第 371 号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
----	----------	--------------	-------------

酸化鉄	酸化鉄	該当	該当
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	分類 (2023年3月31日まで)	分類 (2023年4月1日以降)
リン酸エチルヘキシルジフェニル	リン酸2-エチルヘキシルジフェニル	561	第2種指定化学物質	該当なし
ホウ酸亜鉛	ホウ素化合物 (ホウ素として)	405	第1種指定化学物質	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

- セクション1：製品用途 情報の追加.
- セクション1：SAP Material Number 情報の追加.
- セクション2：環境影響ステートメント 情報修正.
- セクション2：GHS分類 情報修正.
- セクション2：健康有害性 情報修正.
- セクション2：注意書き - 一般 情報修正.
- セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.
- セクション2：ラベル要素の追加GHS情報 情報の追加.
- セクション3：成分表 情報修正.
- 項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.
- セクション4：応急措置 (皮膚の接触した場合) の情報 情報修正.
- セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション8：眼および顔面保護 情報修正.
- セクション8：mg/m3 記号 情報の追加.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション8：保護具 - 皮膚/体幹 情報の追加.
- セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正.
- セクション8：ppm 記号 情報の追加.
- セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
- セクション8：皮膚保護 - 保護衣情報 情報の追加.
- セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
- セクション9：発火点情報 情報修正.
- セクション9：燃焼性 (固体、ガス)情報 情報修正.
- セクション9：燃焼点 (下限) 情報 情報修正.
- セクション9：燃焼点 (上限) 情報 情報修正.
- セクション9：揮発分 情報修正.
- セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
- セクション11：急性毒性の表 情報修正.
- セクション11：発がん性の表 情報修正.
- セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション11：健康影響情報 (皮膚) 情報修正.
- セクション11：変異原性情報 情報の追加.
- セクション11：生殖毒性の表 情報修正.

セクション 1.1 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報の追加.
セクション 1.2 : 材料生態毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 1.4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.5 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報の削除.
セクション 1.5 : 毒物及び劇物取締法の表 情報の追加.
セクション 1.5 : 化管法の表 情報の追加.
セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。